



2019年6月28日付

基準価額の推移



分配実績(1万口あたり、税引前)

第1期 (2014年12月18日)	第2期 (2015年12月18日)	第3期 (2016年12月19日)	第4期 (2017年12月18日)	第5期 (2018年12月18日)
0円	0円	0円	0円	0円

※分配実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
▲0.04%	▲1.59%	18.62%	▲9.24%	33.75%	35.70%	48.94%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

チーフポートフォリオマネージャーより

運用責任者メッセージ

6月の内外金融市場は、米国の利下げ期待の高まりに加え、月末のG20サミットにおける米中首脳会談への期待から株式市場は上昇しました。特に、米国S&P500やインド、ブラジルでは株価指数が史上最高値を更新する展開となりました。一方で、国内株式市場は、世界的な株高が起こる中でドル円が106円台をつけて円高に振れたことなどから小幅な上昇に留まりました。

当ファンドは、▲0.04%の下落となりました。当月は、ベンチマークではありませんが日経平均株価は3.28%の上昇、TOPIX(東証一部株価指数)配当込みは2.76%の上昇、東証マザーズは▲1.08%の下落でした。これで、年初からの半年では+18.62%となっています。(同期間の日経平均株価は+6.30%、TOPIX配当込みは+5.21%)。当月はマイナスとなりましたが、年初からは相対的に市場平均を大きく上回る結果を維持しています。世界景気の減速懸念と米中貿易摩擦の不透明感は続いていますので、引き続き慎重な運用を心がけてまいります。今後も、当ファンドにご期待ください。



代表取締役社長
兼最高運用責任者 伊井 哲朗

ファンドのデータ

基準価額	14,894円
純資産総額	3,917百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「ザ・2020ビジョンの費用について」をご覧ください)。
※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

ポートフォリオの構成比(マザーファンド)

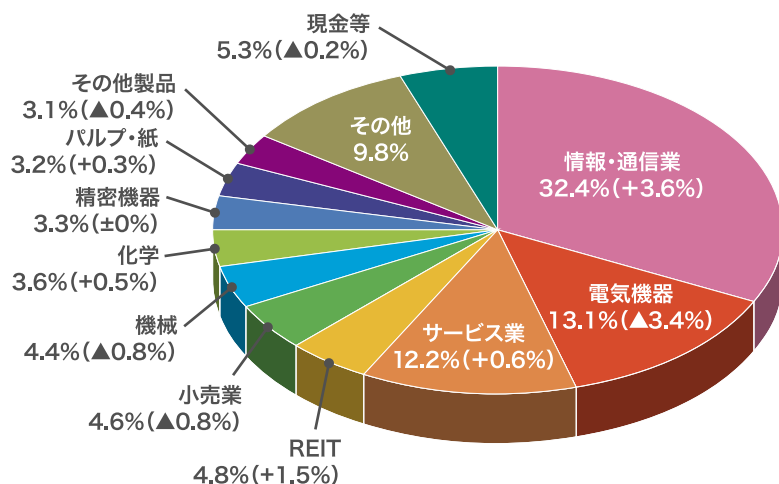
	当月末	前月末比
株式等	94.7%	0.2%
現金等	5.3%	▲0.2%
構成銘柄	56社	±0社

市場概況

6月前半の日本株は、米国の対メキシコ追加関税への懸念から下落して始まりました。しかし、4日にパウエルFRB議長が利下げに含みを持たせる発言をしたことや、7日の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を大きく下回ったことで早期利下げ観測が高まったことから米国株が上昇し、週明け10日の日本株も大幅高となりました。中旬はFOMCを控えて小動きとなりましたが、18日にECB理事会でドラギ総裁が追加緩和を示したことや、19日のFOMC後の声明文で年内の利下げ観測が高まったことから、世界的に金利が急低下する中、日本株も買われました。後半はパウエルFRB議長が行き過ぎた利下げ観測を牽制したことから一旦は下落しましたが、週末に開催されるG20サミット後に米中首脳会談で貿易協議が進むとの期待が高まったことから反発し、日経平均は前月末比674円高(+3.28%)の21,275円で取引を終えました。

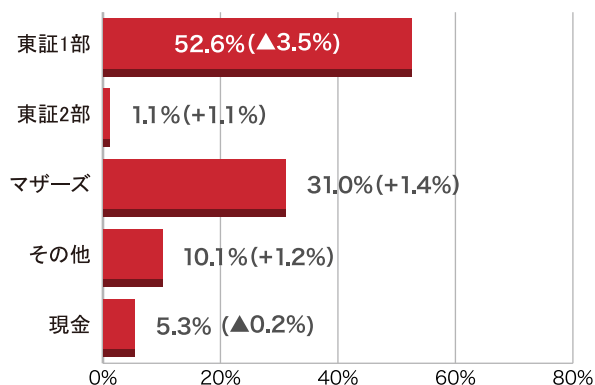
トレーディング部 瀧上 幸男

業種別構成比 ()内は前月比

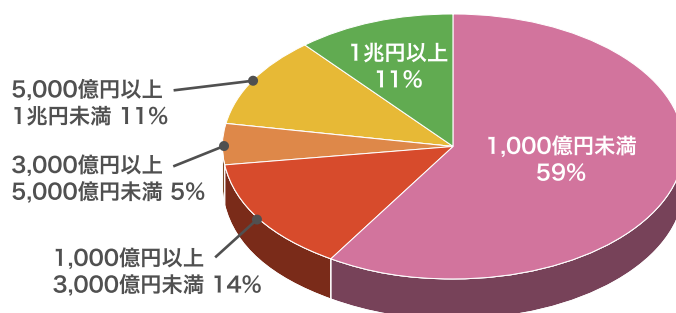


- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。
- 時価総額別構成比については、構成銘柄数における当該時価総額別の社数の割合を示しています。

市場別構成比 ()内は前月比



時価総額別構成比



運用状況

◎ファンドの月間リターンと主な投資行動

6月は、東証マザーズなど小型成長株の下落の影響から、当ファンドは小幅な下落となりました。月末時点の現金比率は前月末と同じレベルの5%程度となっています。また、世界的な長期金利低下を背景にREITの組入比率は前月末比1.5%引き上げ4.8%としています。REITは外部環境が不透明な中、安定資産としての位置づけです。組入上位10銘柄の中ではメイコー+14.85%、日本電産+8.35%、ソニー+7.44%などがプラスのリターンとなりパフォーマンスをけん引しました。引き続き、守りに強いポートフォリオを維持、強化してまいります。

- 組入比率とその内訳、組入銘柄に関する記載は、マザーファンドについてとなります

最高運用責任者 伊井 哲朗

組入上位10銘柄の紹介

(2019年6月28日現在)

銘柄名		概要
業種	組入比率	
日本電産		モータの開発・製造・販売が事業の中心。中期戦略目標「Vision2020」で掲げる2020年度売上高2兆円、営業利益率15%以上、株主資本利益率18%以上、の目標達成に向けて、4月1日付けで吉本新社長が就任し経営体制の一層の強化を図る。創業者である永守氏は、会長兼CEOとして引き続きグループを牽引。
電気機器	3.6%	
エムスリー		医療従事者向け情報サイトで製薬会社への情報提供支援事業、医薬の研究開発のe化を推進する治験事業を展開。MR君(医療情報提供サービス)の持続的な成長に加えて、治験のe化を推進する「治験君」が第2の成長エンジンへ。
サービス業	3.6%	
ソニー		新中期経営計画がスタートする2018年度より、吉田新社長のもと、「aibo」を起爆剤に民生エレクトロニクス再生を進め、“ユーザーに感動を与える”平井イズム継承により、“元気なソニー”の復活を期待。
電気機器	3.4%	
任天堂		据え置きゲーム機ハード、ソフトの総合大手。2017年に発売した新型据え置きゲーム機「Switch」およびソフトの販売が好調に推移。今後は有力新作ソフトの拡充に加えて、オンライン機能や「LABO」など新しいあそびの提案などに注目。
その他製品	3.1%	
ラクスル		ネット上で完結する印刷・広告プラットフォーム「ラクスル」を運営。大企業中心に垂直統合で形成された産業をインターネット・シェアリングにより水平分業化することで、日本全体の生産性向上に取り組む。長期的なプラットフォーム価値の最大化を目指した成長投資の効果に期待。
情報・通信業	2.9%	
SHIFT		「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」を掲げ、中堅から大企業を中心にソフトウェアの品質保証・テスト事業を展開。卓越した実践力を持つ丹下社長、会社の「品格」面から成長を支える松尾副社長により、売上高1000億円超の世界No.1品質保証専門企業を目指す。
情報・通信業	2.9%	
花王		ファブリック&ホームケア事業(衣料用などの洗剤、消臭芳香剤など)、スキンケア事業(洗顔料、ボディローション、シャンプー・リンスなど)、ヒューマンヘルスケア事業(おむつ、生理用品など)、化粧品事業、ケミカル事業からなる。2018年度の業績は、9期連続増益、6期連続最高益更新、29期連続増配を達成。事業戦略とESG戦略を融合し、グローバルで存在感のある会社を目指す。
化学	2.7%	
リクルートホールディングス		会社設立以来、60年を超えて常に変化を続け新しい価値の創造を続ける。峰岸社長は、「企業文化以外は全て変えていく」と決めて同社の変化を推進。この10年でゼロに近かった海外売上高比率も50%を超える勢い。
サービス業	2.7%	
ユーザベース		法人向け業界情報プラットフォーム「SPEEDA」、経済ソーシャルニュース「NewsPicks」を展開。既存事業のEBITDAマージン30%超を2020年までに、米NewsPicks事業を2021年に黒字化達成を目指す。
情報・通信業	2.5%	
メイコー		プリント配線板製造大手。最悪期を脱し、構造改革のステージを経て成長ステージへ突入。主軸の車載用、スマホ用ともに増勢基調。車載用は自動運転、電動化の普及拡大により需要は旺盛。スマホ用は中国、韓国向けに強み。需要拡大に伴い設備投資も活発化。
電気機器	2.5%	

● 業種については東証33分類に基づいて記載しております。 ● 比率は純資産総額を100%として計算しております。

未来予想図～20-20vision～

ネット通販拡大と強いオンライン処理ニーズ

日銀短観が7月1日発表された。企業のソフトウェア投資額の伸びは、全産業ベースで、2018年度前年度比4%増から2019年度計画は同13%増と2ケタ増に高まる。3カ月前に比べ上方修正されており、規模別にみると、大企業が前年度比11%増、中堅企業が同20%増、中小企業が同26%増と規模が小さくなるほど、情報化投資の必要性がより強まっているのが窺える。

マクロ経済の動きは、最近の調査取材活動のなかでも実感する。この1カ月、ロボット、物流システム、建設機械、中古車、外食、再生可能エネルギー、段ボール、ネット通販およびオンライン処理、インターネットメディア、廃棄物、商社、など多くの企業を個別訪問したが、各社とも成長戦略としてほぼ一様にデジタル化・情報化への投資拡大を掲げている。こうした環境下で、ネット通販およびオンライン処理の会社が大いに恩恵を受けている。

ネット通販では、アパレルを中心に、旅行関係、食品・健康食品、化粧品、情報コンテンツ(ゲーム・音楽・漫画など)、などの企業が取り組みを強化している。ネットで商品を販売する事業者は、一般に、大手通販サイト複数への出店に加え、自社ECサイトを構築する。その場合、手間のかかる商品の在庫確認や仕入管理、決済処理はオンライン処理会社に委託し、自分たちはマーケティング戦略などに時間をあてるケースが多い。業務の委託を受けたオンライン処理会社は、月額固定料金、オンライン上の処理数などに応じた課金といった様々な方法で顧客から料金を徴収する。

国内の民間最終消費支出は年間300兆円程度と膨大。今後、日本は、低いEC化率が海外並みに高まる余地があることに加え(EC化率は、日本が物販で6.2%、海外は2ケタの国もある)、キャッシュレス化への流れが進展する可能性がある。IoT(モノのインターネット)が日々の生活に浸透していくとみられるなか、ネット通販市場およびオンライン処理市場の成長も加速化していくと思われる。



シニア・アナリスト
上野 武昭

コモンズPOINTからのお知らせ

コモンズPOINT応援団！第22回日本知的障害者選手権水泳競技大会に行ってきました！

ザ・2020ビジョンの寄付のしくみPOINTで応援中の日本知的障害者水泳連盟の大会が、6月9日(日)横浜国際プールで開催されました。コモンズ投信のお仲間たちとコモンズPOINT応援団を結成し、一緒に応援してきました。こちらはメダル授与をご経験されたお仲間の声です。「皆さんが真剣に水泳に取り組んでいて、大会記録や日本記録が更新されると大きな拍手がおき、大変盛り上がりました。幸運にも表彰式のプレゼンターとして、プールサイドから観ることができ、泳ぎのダイナミックさと競技の空気感に触れられて感動しました。今回、機会を頂きありがとうございました。」



観客席では、「みんなの水泳の絵 絵画展」に参加して下さった選手とご家族にも再会することができました。

そして当大会では、日本新記録、世界新記録も生まれ、夜のニュースでも取り上げられ、選手がインタビューに答えていました。

コモンズPOINT担当 馬越 裕子

お知らせ

◎Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。 <https://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名		日付	時間	場所
コモンズ投信10周年感謝の集い	【金沢】	7月27日(土)	13:30～15:30	金沢商工会議所(石川県金沢市)
	【仙台】	9月15日(日)		場所未定(宮城県仙台市)
はじめてのコモンズ(ファンド説明会)		7月10日(水)	19:00～20:30	コモンズオフィス(東京都千代田区)
	【お子様連れ歓迎】	7月11日(木)	13:30～15:00	
		7月17日(水)	19:00～20:30	
	【お子様連れ歓迎】	7月20日(土)	10:30～12:00	
		7月24日(水)	19:00～20:30	
		7月31日(水)	19:00～20:30	
NISA・iDeCo 活用セミナー ～コモンズ 30 ファンドで長期つみたて資産形成～		7月16日(火)	19:00～20:30	貸会議室マイ・スペース新宿小滝橋通り店(東京都新宿区)
	【お子様連れ歓迎】	7月23日(火)	13:30～15:00	コモンズオフィス(東京都千代田区)
はじこも「投資の成功法則」	【東京】	7月15日(月・祝)	13:00～14:20	FinGate(東京都中央区)
	【大阪】	7月21日(日)	14:00～15:20	AP大阪梅田茶屋町(大阪府北区)
運用報告会	【東京】	7月15日(月・祝)	14:30～15:45	FinGate(東京都中央区)
	【大阪】	7月21日(日)	15:30～16:45	AP大阪梅田茶屋町(大阪府北区)
コモンズ 30 塾「企業との対話」 「脱プラスチック問題」 コモンズ 30 ファンド投資先企業 セブン&アイ・HD をお招きして		7月26日(金)	19:00～21:00	FinGate(東京都中央区)
こどもトラストセミナーで【セブン&アイ】を体験しよう！		8月4日(日)	10:30～13:30	(株)セブン&アイ・ホールディングス 伊藤研修センター(神奈川県横浜市)
こどもトラストセミナーで【デンソー高棚製作所】を体験しよう！		8月8日(木)	13:00～16:00	デンソー高棚製作所(愛知県安城市)
こどもトラストセミナーで【ダイキンフーハ】を体験しよう！		8月22日(木)	14:00～16:00	ダイキンソリューションプラザフーハ東京 (東京都新宿区)

「つみたてキャンペーン」のお知らせ

毎年恒例！つみたてキャンペーン2019スタート！

是非この機会をご利用ください。詳細はこちらから <https://www.common30.jp/pdf/tsumitate19.pdf>

ザ・2020ビジョンのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしく お願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行なえない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。

その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物 取引協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○			
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○				
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○		
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第32号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○			

ザ・2020ビジョンの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.242%(消費税込)を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／国内／株式
信託設定日	2013年12月27日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日とします。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	(コモンズ投信の場合)1万円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込受付日の基準価額
換金単位	(コモンズ投信の場合)1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額とします。
換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先	■コールセンター (受付時間／平日 午前9時～午後5時) 03-3221-8730 ■ウェブサイト https://www.common30.jp/
◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。	
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2061号 加入協会 一般社団法人投資信託協会 コモンズ投信株式会社 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階	